夕刊
磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市渚廻51
電話387番
編集兼発行人 樫村清

年度内に完成か 明るい一萬噸岸壁

小名浜商港の一萬トン岸壁建設事業費約九千萬圓を必要とするが、國の緊縮予算の影響を受け起債額が制限されたので、縣は一應六月議会に於てザン定的に四千萬円のワクを組んだのであつた。然し只見電源開發問題解決後の縣政上の重大焦点であるこの小名浜港の整備完成こそ焦眉の急務であるので、關係者は強力に起債ワクの擴大を要請運動中であつたが、一昨日縣の高野土木部長、財政課長、縣議會土木常任委員長小野義一氏等が上京、當局に陳情接渉の結果、起債ワクを大幅に擴大増額し、今年度内に一萬トン埠頭工事の大要を完成し得る明るい見透しを得るに至つた。

これについて小野縣議会土木常任委員長は「起債の増額は絶對確實だ。年度内完成とゆかずともそれに近い工事が出来るから前途は明るい」と語つている。

門井組を除き 夏季手當決定

既報の通り十七日に日本水素労組の夏季手当要求が解決した。

然し日本水素労組を主体に結束されて居る水労協（議長斎藤博）の加盟組合では組合内部の情勢と経営者側の經濟的内容とに依つて足並が、揃つて居ない。

小名浜運送KK（高橋幹夫）は男子組合員は三千円（一萬円）女子組合員二千円（七千円）で去る十九日の交渉の席に經營者側から回答が出て、加盟三組合の先陣で円満裡に解決した。

丸濱組（里見可中）では二十一日午後の交渉時に一律三千円でこれ又解決し、残る門井組（組合長齋藤博）では昨二十一日迄に四回にわたる話し合いを續けて来た處、三十一日の席で経営者側では去月五、六月にわたり男二〇五〇円女一四〇〇円支給済なので、これ以上は出せないと云う經濟的内容を説明して回答にした結果、組合としてはその場で拒否したので、今後の成行が注目されている。（）の数字は要求額

館長会議

磐城市内公民館及各分館長会議は昨二十一日小名浜公民館日本間に於て行われ、公民館活動及運營と、本館分館と總合的なつながりをたもち、社会教育及び文化の進展を圖ることになつた。

石城地区中体大会

小名浜、植田、錦の各地で開催

縣中学校体育連盟主催の石城地區大會は明二十三日、二十四日の兩日左の通り各中學校々庭で行われる。

◎庭球（錦）
◎野球（平二中）
◎ソフトボール（小名浜二中）
◎籠球（平第三）
◎排球（植田）

二十四日
▼卓球（四倉）
▼体操（湯本一中）
▼水上（内郷二中）

三十一日
▼陸上競技（好間）

原水爆の協議と展示会

磐城市原水爆禁止運動協議會（會長長瀬彰義氏）は明二十四日午後一時より小名浜公民館に於いて原水爆禁止世界大會を原爆の地廣島市で行うことになつており其の代表選出のために協議會を開催することになつている。

尚、原子力説明展示會（東北大學原子力展示会）を二十三、二十四日の兩日午前十時より午後八時まで行う。これは原子力の原理、原水爆の恐しさ、原子力の平和利用に關するわかりやすい展示會であり多數市民の参觀を望んでいる。

小名高勝ち進む

高校野球県豫選て

全國高校選抜野球大会縣予選第二日目に駒を進めた石城のホープ小名浜高校は初戦良く樂勝した最良のコンデーションを維持し、戰い馴れた信夫ガ丘球場で本二十二日午前九時強敵東北工校と對戰の結果、激戰良く四對〇を以て東北工校を破り第三戰に駒を進める事になつた

果實 乾物 卸問屋
青木商店
泉駅前通り

人生俳句の大家

中村斌雄氏来演

俳句誌「麥」を主導している中島斌雄氏（東京都内居住）一行が今二十二日午後三時東京より來浜日本水素小名濱工場講堂に於て午後四時半より六時半迄「女性と文学」について講演を行つた。

中島斌雄氏は一般に言はれている新興俳句の探究家であり、人生俳句の大家中村草田男、私元不二男等と共に熱烈に人生俳句を探究確立した一人である。

中島氏主導誌「麥」の同人として磐城市には上明神町の蛭田医院長（雅號―親司）他二名がいる。蛭田氏が東大在學中当時の國文科の教授は中島氏であつた。

明二十三日以後のスケジュールは次の通りである二十三日（平駅集合）平発七時、小川町江田に行き耶馬溪に勝るといわれる七瀧（通稱背戸峨廊）を探勝し松風莊に於て日本水素小名浜工場社内俳句大會を開催する。

二十四日は午前十時江名町公民館に於て磐城地區俳句大會開催（会費百円）参加俳人全員に對して地元江名町婦人會では晝食の接待をする事になつている。

二十五日午前中豊間塩谷崎燈台見學、午後二時頃歸郷予定である。

俳句（近作）

朝櫻　　中村斌雄

パン積んでケースくもらす朝櫻
砲音やくろさ鎭もるキャベツの座
貨車過ぐ間默すビールの泡捧げ
一氣に乾すビール春星ちりばめつ
グレーン河口の春の雲をカけ

蛭田親司

ジェット機過ぐ若き生ガ々朝の膳
迫る息診る千萬の灯取虫
繪日記に子の朱き夏あふれたり

小名浜港六月の 総貨物一万三千トン

こゝ五、六月の小名浜港の出入港貨物取扱実積をみると、五月は石炭四三八二屯、コークス一六六〇屯、ドロマイト一三三一屯、スクラップ二六七屯であり出入船九隻総屯數一〇、三三三屯貨物總屯數七六四〇で、六月には石炭四二四五屯、コークス二四〇〇屯、ドロマイト一三二〇屯、スクラップ一八〇屯、硫安四五〇〇屯、出入船十二隻總屯数一一八八五トン、貨物總トン数一三〇六五トンであり、一萬トン岸壁が完成すれば名實共に立派な東北の門戸となるであろう。

天氣予報

（今晩）北の風晴れですが時々くもりです、よいのうちはにわか雨があるでしょう。

（明日）南の風晴れたりくもつたりでしょう。ところによつてはにわか雨の降るところもあるでしょう。

（明後日）南よりの風晴一時くもりでしょう。

（海上）今晩はうねりが残りますが明日はおさまつてくるでしょう。あさつてはおだやかとなつて來ましよう。なを朝晩きりの発生があるでしよう

戒名紋入
新盆提灯
岐阜提灯の御用命は
みはるや菓子卸店
磐城市上町 電話七七七番

産婦人科 外科
X線科
久保田醫院
磐城市横町 電（磐城）22

生ビール（ジョッキ）
盛夏の栄養は
金時のうなぎで（毎日大量入荷）
小名浜駅前
金時
電128
出前敏速

求む
新聞擴張員 若干名
委細面談 磐城日日新聞社

酒類販賣!!
永らく御要望の酒、ビール、焼酎、等も販賣致すことになりました
酒類 雜貨
菓子類 青果類
タバコ
磐城市君ゲ塚
松ノ木店

求 女中さん優遇
マーケット ちろ里

◈市役所ワキ通り（要埋立二五〇坪）（◈大原街道沿い（宅地一二〇〇坪）◈二小裏（宅地八〇〇坪）◈小名高附近（宅地五〇〇坪）◈宮下駅前（四〇〇坪）何れも分割可
◈泉駅附近住宅一四坪借地権付二十三万（建後三年）
◈電話加入権譲渡
◈求む 店舗金星座前通り又は下横町通り
其他各種御相談に應じます
たけや 土地建物取引部
県公認ロ六九号 磐城市辰巳町（海水浴場角）
電話一四五番

海岸の売店を御利用下さい
生ビール
中華料理
ジョッキ
永華
磐城市小名浜 電483

神経痛、痔疾
中氣、婦人病
リウマチスに特効
◈湯本駅…小名浜間 バス二十分毎往復
◈住吉停留所南海荘前下車
磐城市相子島
♨南海荘

新盆用品
佛壇位牌
岐阜提灯の御用命を承ります
磐城市字定西
本多造花店
電話543番

電氣工事と
照明器具
吉田電気工業所
磐城市中島通り
電話八〇八番

かみや才一位に

照明コンクール表彰

磐城市港まつり行事の一環として市内商店八十七軒の参加で行われた照明コンクールの表彰式は本日午前十時小名浜公民館日本間で行われた。市役所、商工會議所、東北電力KK本社及受彰者参列、市側代表大浦農政課長の開會挨拶、松田商工会議所専務の審査報告があつて、草野商工会頭より受賞者に對し表彰狀及金一封を贈り、次いで座談會に入り店舗の照明について東北電力KK蓬田平營業所營業課長を中心に話合つた。

優秀照明店舗として表彰された店は次の通り

※優良店舗

一、かみや

二、さんかんや

〃、大菱履物店

三、内山時計店

〃、伊勢丹カメラ店

〃、野島履物店

※努力賞

高野洋傘店、長山電気商会、はちや洋品店、高野洋品店、だるま藥局

この照明コンクールは街の美観と電力の合理化、並に店舗の改善のために行われたもので、廣告燈看板燈と飾窓各一〇点、店内の着想と施設二〇点効果四〇点として審査されたものである。

今宵の空涼し

彩やかな花火大会

磐城市港祭り協賛行事の一環である花火大會（豫算一五〇、〇〇〇圓）が今夕七時より行われる。三千トン埠頭豆フ岩の上より海上に向い夏の夜空を涼味満点七彩でいろどることになつている。総打揚數二一二発（服部花火商店扱）で、内三寸玉七〇、四寸一〇〇、五寸三八、七寸二、八寸二呼物の仕掛打揚時間は八時スタマイン（二十米）八時三十分「港まつり」八時「繁昌七夕」となつている。

運動用品の
ノ
エ

車馬止めて

交通整理

磐城警察署では港祭りの人出に賑わう市内通行人の交通事故を未然に防止するため本朝六時より午後十時迄の間、左記の地區を交通止（車馬）し、汗だくで交通整理に当つている。

本町通り、スマヤの角—臨港小名浜駅間、港橋—第二小学校前三叉路間。

小野晋平先生の

十三回忌を迎えて

近藤安雄

小名浜の生んだ偉大なる人小野晋平先生が、東京の客舎において突如病に倒れて茲に十三回忌を迎えるに當つて、故人が小名浜町発展のために一生を捧げ、小名浜をして今日あらしめた恩人として今更ながらその面影をしのびて吾が町発展の功績を讃えてみよう。

先生が小名浜町長として又縣会議員として政治活動をしたその當時、町発展のため町是として五つの政策を樹て、これに向つて猛進しない限りは吾が町は発展しないと宣言した。

一、商港の実現

一、大工場の誘致

一、上水道の完成

一、臨港鉄道の完成

一、道路の整備

当時私も町会議員の職にあり、町政に関與していたが、この五政策の完成は理想としては誠に結構なことであるが、この實現には相當額の予算を必要とするも、財政貧困の小名浜としては仲々容易なことではなく、議員諸氏も理想論であつて実現性に乏しいと見て余り乗氣でなかつたようだ。併し小野先生はこの政策が實現出來なければ小名浜の発展はあり得ないと断定し、その信念は益々固く、機会ある毎に中央の知名の士には勿論あらゆる会合等に實現方の運動を怠らなかつた。是れらが動機となつて當時我國において有名な実業家淺野総一郎翁を説得し、小名浜商港修築を條件に縣に對し百万圓（現在約五億圓相当）の寄附申出を申請したため、縣も捨てては置けずこれを動機として小名浜商港実現を決意し、縣議会を通過せしめたことは當時余りにも有名な話であつた。その後濱口緊縮内閣の時財政上の理由で小名浜商港修築打切りの報傳わるや町長自ら陣頭に立ち、町会議員全員を擁して上京、當時内務省に三晝夜頑張り不眠不休の運動功を奏し、小額であつたが予算を繼續せしめ、打切りを中止せしめたことが今日も尚續いて商港の修築を繼續せしめている原因であつた。當時商港局の役員も斯様な体當り式な熱心な運動を受けたことがないと熱意を買われたのであつた。小野町長ならでは出來ないことである。

今も同様であるが工場誘致は會社側に種々な條件があつて容易なことではない。日本水素の誘致も又例外ではなかつた。小名浜は當時予定地になつていたが、土地買入れその他に難關があり除外の破目となつた。小野町長はこれを聞いて如何にしてもこの工場を小名浜に設置しなければならないと決意し、自己所有地一万坪の寄附を申し出で、當時水素会社社長中野有礼氏に熱意を示したので全氏も私欲を離れた愛町の念に感激し小名浜設置と決定した。これが動機となつて次々と今日の大工場の出現を見つつあるのである。

上水道の設置についても種々財政上の困難と經緯があつたが、あらゆる困難を克服して完成を遂げた。その創立慾と實行力の盛かんなことと現今の政治家の比ではない。

交通の整備も又臨港鉄道の完成も何れも町是の五改策を仕上げた熱意は只推賞以外の言葉は見当らない。こうして現在の發展港都の素地を創つたことは全く當市の恩人と言わねばならない。

この外舊江名町の土地狹アイにして発展の余地なきに同情して私費をもつて数万坪の埋立てをなし今日江名発展の素地を創り地元民から沒後も感謝されていることは駄辯を要しない。

その他小名浜平間直通自動車専用道路を計画し縣に出願したところ當時狂人扱いをされて不許可になつた。先生は役人の偏見をなげいた。今若し直通道路が出來ていたら本縣の産業發展のため如何に有益であつたか想像に余りある。

當時縣廳に町の運動のため出縣した際、役人がよく言つた言葉に「小野晋平前に小野晋平なし、小野晋平の後に小野晋平なし」と、この言葉通り如何に當町の生んだ偉大な人物であつたかを推測することが出來ると思う、今茲に先生の十三回忌を迎えるに當つて故人の功績を偲び敢えて一文を草した次第である。

文藝

俳句

英友書道会

緣先の八つ手の花は早咲きて
くらき夜空に白く浮べり　—勝男—

月見草ひらき夕焼さめゆく　—千秋—

青すだれ影繪のごとく人動く　—多々惠—

汐引いて砂に日が照る暑さかな　—祐子—

物指で晝寝の蠅を追つてやり　—康子—

あじさいが咲いているじつとみつめてた
ふさふさしたあじさいの花が先生の
かみの毛のようだつた　—島岡—

22日—27日

今日の映畫案内!!

総天然色
シネマスコープ
12哩の暗礁の下に
シネマスコープの特殊レンズは遂に千古の海底の神秘をとらえた!
ロバート・ワグナー
ラリイ・ムアー
同時上映雄こん大西部劇
アリゾナの決斗
ヴイクター・マチユア

金星座

◉従業員募集◉

一、男子　若干名
一、年令　滿十七才……滿二十才迄
一、旧小名浜町在住者、要保証人二名
一、希望者は七月二十七日迄履歴書送付又は持参
一、委細面談

磐城市字上明神町六
小名浜生活協同組合
電話三八八番

醉つて双傷

昨夜午後八時半頃磐城市江浦地内の隧道工事現場飯場内で同工事場の常磐市傾城生れ土工佐藤一（二四）と勿来市生れ支柱夫安齋政弘（二四）は泥醉の上口論となり、佐藤は安齋に菜切りホウチョウで後頭部と左掌に全治二週間の傷を負わせ磐城署員に逮捕された。

二人は平素仲がよく、泥醉上の出來事で、被害者はかえつて加害者の身を案じている。

魚菜市況

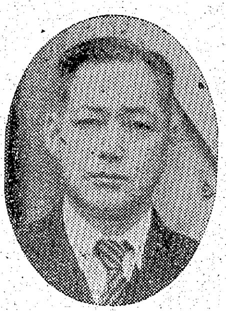
◎青果　丸協市場

なす五—一五きうり二—一五かぼちや二〇—七〇ねぎ三—七にんじん二—八馬鈴薯二五—四五なたまめ二〇—七〇大根二〇—五〇ごぼう一三〇—一五〇玉な二五—三〇菜類二—六らつきよう八〇—一〇〇とまと一〇—四〇青梅二三五もも二〇〇—三三〇すいか七〇うり一〇〇—一六〇たまご一〇—一二、三〇

暑中御見舞申上げます

磐城市議会議長
長瀬彰義

磐城市議会副議長
江尻卿



磐城市議会議員
總務委員長
港湾委員
遠藤勝馬

磐城市議会議員
厚生委員長
土木委員
箱崎瀧三郎

磐城市議会議員
土木委員長
農政委員
酒井直惠

磐城市議会議員
水道委員長
土木委員
木村祐